

福井県の 県政ビジョンと 財政運営

令和6年10月 福井県

北陸新幹線
福井・敦賀^{つるが}開業
2024

3.16 SAT

今こそ、福井をかがやかせる時だ。

1 福井県の概要	
(1) 福井県のすがた	3
(2) 福井県の主な観光地	4
(3) 北陸新幹線（金沢・敦賀間）令和6年3月16日開業	5
(4) 北陸新幹線 県内開業の効果	6
(5) 福井県の美食	8
(6) 「幸福度日本一」	9
(7) 県内総生産の構成内訳	10
(8) 「実は福井の技！」	11
2 福井県の重要課題	
(1) 北陸新幹線敦賀以西の整備促進	13
(2) 高速道路の整備	14
3 福井県の財政運営	
(1) 令和6年度福井県当初予算（一般会計）歳入	16
(2) 福井県普通会計歳出決算の推移	17
(3) 福井県普通会計歳入決算の推移	18
(4) 原子力発電関連税収等の推移	19
(5) 原子力発電に関する福井県の現状	20
(6) 財政健全化法における財政指標	21
(7) 地方債残高の状況	22
(8) 減債基金・財政調整基金等の状況	23
(9) 企業会計の状況	24
4 地方公会計に基づく財務諸表の状況	
(1) 統一的な基準による地方公会計	26
(2) 貸借対照表	27
5 行財政改革の実施	
(1) 行財政改革アクションプラン2024	29
(2) 行財政改革アクションプラン2024における健全財政の堅持	30
6 福井県の目指す姿	
(1) 福井県長期ビジョンの概要	32
(2) 令和6年度重点施策	33
7 福井県とSDGsの関わり	
(1) 福井県のSDGsの取組み	36
(2) 次世代育成に向けた取組み	37
8 福井県債のご紹介	
(1) 市場公募債の発行状況	39
(2) 令和6年度の市場公募債発行予定	40
(3) 福井県グリーンbond発行概要	41
(4) 福井県グリーンbond充当予定事業	43
(5) 資金充当状況・環境改善効果	44
福井県債に関するお問い合わせ先	45

1 福井県の概要

(1) 福井県のすがた

- 福井県は日本海国土軸の中心に位置し、都につづく大陸文化の玄関口として、時代を通して人・モノの重要な結節点となってきました

福井県の概要

東京から

- 🚄 JR/北陸新幹線で約2時間50分
- 🚌 羽田→小松空港経由バス利用で約2時間
- 🚗 高速自動車国道で約5時間30分

大阪から

- 🚄 JR特急/北陸新幹線で約1時間50分
- 🚗 高速自動車国道で約2時間40分



古代より「御食国」として、若狭の美物（うましもの）を都に運び、京の食文化を支えた
(画像：鯖街道 熊川宿)



平安時代、大国に分類される越前国の国司に赴任する父・藤原為時に同行し、紫式部が約1年滞在

面積	4,190,58km ²	全国34位
人口	740,232人	全国43位
世帯数	296,585世帯	全国44位
就業者数	415,138人	全国43位
県内総生産（名目）	3兆5,711億円	全国40位
1人あたり県民所得	318万円	全国3位



江戸から明治にかけて、財や文化を運ぶ北前船が寄港
(三国・南越前・敦賀・小浜)

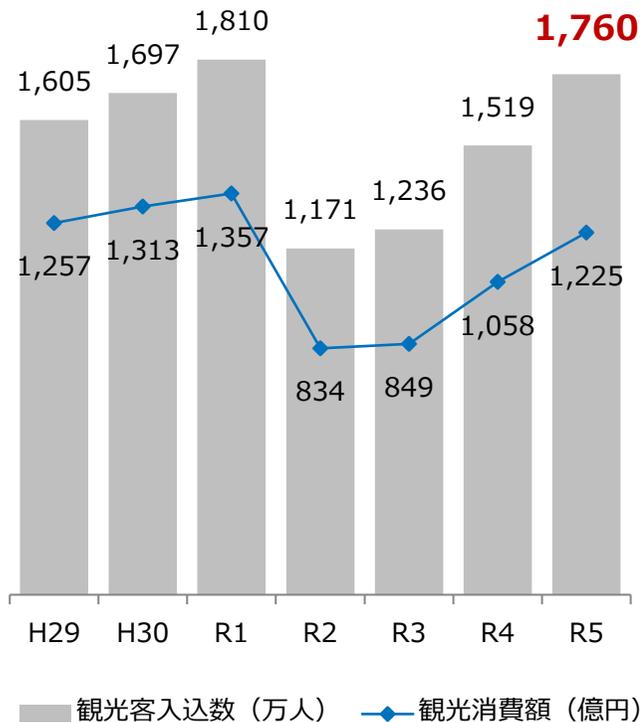


明治の終わりから昭和の初め、欧亜国際連絡列車が敦賀港を発着

(2) 福井県の主な観光地

- 豊かな緑と水に恵まれた山々と、雄大な日本海に囲まれた福井県。自然と歴史が織りなす、みどころ満載の観光地が多数あります

観光客入込数と観光消費額の推移



出典：令和5年福井県観光客入込数（推計）

県内の主要な観光地



東尋坊



水島



県立年縞博物館 水月湖



福井県立恐竜博物館



越前大野城



一乗谷朝倉氏遺跡・県立遺跡博物館

(3) 北陸新幹線（金沢・敦賀間）令和6年3月16日開業

- 北陸新幹線（金沢・敦賀間）が開業。東京－福井間が直結し、最短時間2時間51分に



北陸新幹線（金沢・敦賀間）開業 敦賀駅出発式

		発	着
東京発	始発電車	6:16	9:13
↓			
福井行	最終電車	19:56	22:52
福井発	始発電車	6:32	9:32
↓			
東京行	最終電車	20:33	23:32

(4) 北陸新幹線 県内開業の効果

- 全国、特に関東圏・信越から来訪者が大幅に増加し、好調を維持しています
- 県内全域の主要観光地の入込みも好調に推移しています

新幹線駅周辺の来訪者比較（県推計値） ※越前たけふ駅除く

地域	開業6か月間の比較			
	来訪者数	前年同期	増減数	前年比
関東圏	66.6	46.9	19.7	142.0%
関西圏	128.4	105.0	23.4	122.3%
中京圏	39.6	37.3	2.3	106.2%
北陸	84.5	76.0	8.5	111.2%
信越	10.9	6.2	4.7	175.8%
その他	29.9	24.1	5.8	124.1%
合計	359.9	295.5	64.4	121.8%

※来訪者数は、いずれもKDDIが保有するビックデータを用いて算出した県推計値で、前年との比較が可能な芦原温泉駅周辺、福井駅周辺、敦賀駅周辺の合計値かつ延べ人数
 関東圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県
 関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県
 中京圏：愛知県、岐阜県、三重県
 北陸：石川県、富山県（福井県を除く）
 信越：新潟県、長野県

※データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に個人を特定できない処理を行って集計しています
 ※表の縦横の合計値は、四捨五入の関係で合計数値があわない場合があります



敦賀駅（GW）コンコースの様子



くるふ福井駅（GW）の様子

一乗谷朝倉氏遺跡博物館



111%

恐竜博物館



119%

東尋坊



111%

敦賀赤レンガ倉庫



148%

永平寺



129%

※〔比較対象期間〕
 ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館：R6年3月16日～9月15日とR5年3月18日～9月17日
 ・恐竜博物館：R6年3月16日～9月15日とH31年3月16日～9月15日（R5はリニューアルによる閉館のため）
 ・東尋坊、敦賀赤レンガ倉庫、永平寺：R6年3月16日～8月31日とR5年3月18日～8月31日

(4) 北陸新幹線 県内開業の効果

■ 新幹線駅周辺への投資が拡大、地価が上昇

- ・ 駅周辺での**再開発や大規模投資**が今後も継続
- ・ **まちづくりファンド**等により店舗開設など民間投資が拡大
 - ▶ 福井駅周辺104件、敦賀駅周辺60件
- ・ 開業と再開発の進展により駅周辺の商業地の地価が上昇
 - ▶ 福井駅西口（大手2丁目）**7.2%上昇**（過去30年で最大の上げ幅）
 - ▶ 敦賀駅西口（白銀町） **2.4%上昇**



新幹線駅周辺への民間投資（イメージ図）

■ 宿泊施設の整備やリノベーションが加速

- ・ 令和2年度以降、**100軒近くの宿泊施設**のリニューアル等を支援
 - ▶ 嶺北34軒、嶺南59軒
- ・ 上質な宿の開業等を支援
 - ▶ 嶺北3軒、嶺南2軒
- ・ 開業後も整備・改修への希望が増えたため、6月補正予算にて予算増額



オーベルジュ（イメージ図）
（永平寺町）

(5) 福井県の美食

- 福井県は、冬の味覚の王様「越前がに」をはじめとした海の幸や、豊かな自然が育む山の幸・里の幸など食材の宝庫です。おいしいお米の代表格「コシヒカリ」発祥の地でもあります

福井の美味には理由がある。

美食福井

FUKUI GASTRONOMY

越前がに



福井県の漁港に水揚げされるズワイガニ。甘くひきしまった肉質で、ズワイガニの中でもトップブランドの最高級品として知られています

ふくい甘えび



大きさと鮮度にこだわった「ふくい甘えび」。鮮やかな赤い体ととろけるような甘みと食感が特徴です。一口頬張れば口の中いっぱい甘みが広がります

さかほまれ地酒



福井県が生み出した新たな酒米「さかほまれ」と、福井県の研究所が生み出した酵母、福井の大地が育んだ清らかな水を使用した大吟醸酒です。2020年に商品化しました

そば



福井のそばは、蕎麦鑑定士が選ぶ「おいしいそば産地大賞2023」で3年連続トップを獲得しました

若狭ぐじ



古来より最高級食材として京の都に運ばれていました。厳しい基準を満たした個体だけを「若狭ぐじ」として全国に出荷しています

越前がれい



福井県で水揚げされるアカガレイを水揚げ量が多い越前町の地名にちなんで「越前がれい」と呼びます。刺身で食べる越前がれいはヒラメ以上の美味しさを誇ります

(6) 「幸福度日本一」

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

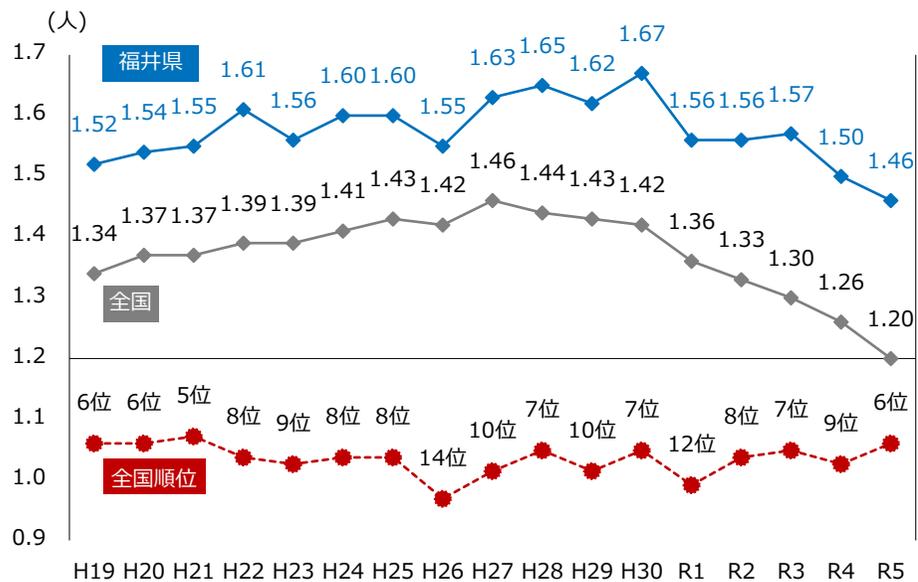
■ 「全47都道府県幸福度ランキング（日本総合研究所）」において **6回連続の総合1位** を獲得

(2014年版、2016年版、2018年版、2020年版、2022年版、2024年版)

(一財) 日本総合研究所「全国47都道府県幸福度ランキング」分野別ランキング

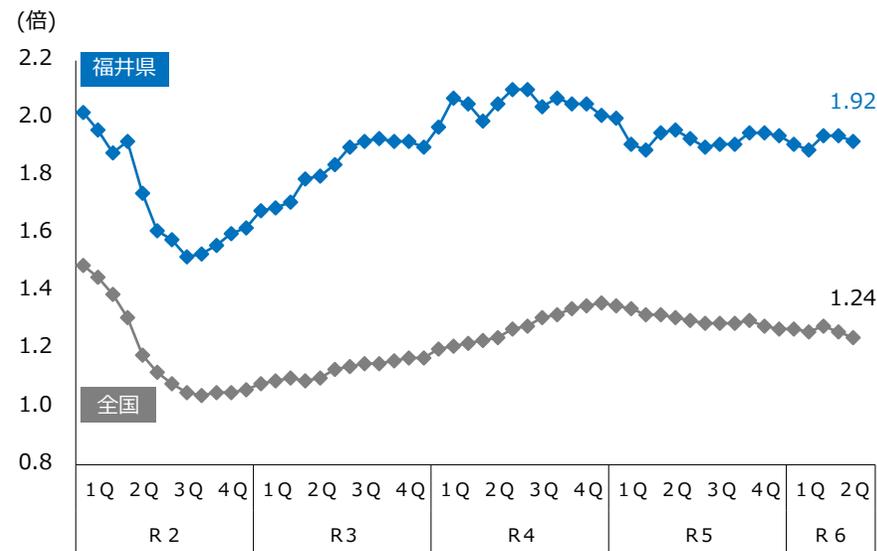
教育分野 1位		仕事分野 4位		生活分野 9位		健康分野 22位	
不登校児童生徒率 (低い方から)	1位	大卒者進路未定者率 (低い方から)	1位	待機児童率 (低い方から)	1位	産科・産婦人科 医師数	7位
社会教育費	2位	若者完全失業率 (低い方から)	2位	一人暮らし高齢者率 (低い方から)	2位	高齢者ボランティア 活動比率	11位
学 力	2位	高齢者有業率	4位	生活保護受給率 (低い方から)	4位	健康寿命	13位

合計特殊出生率の推移



出典：人口動態統計

有効求人倍率の推移

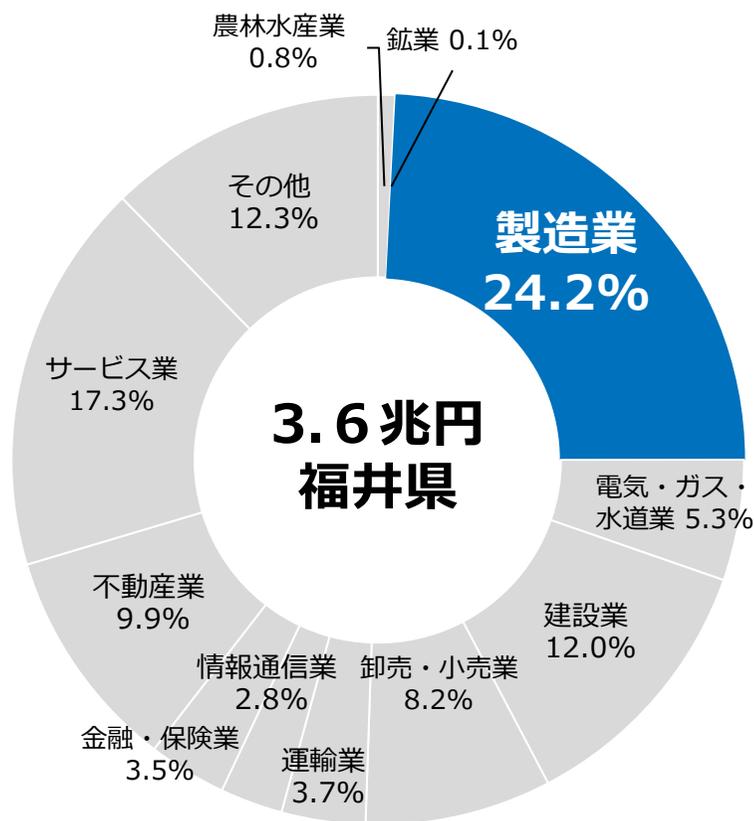


出典：福井労働局「雇用失業情勢」

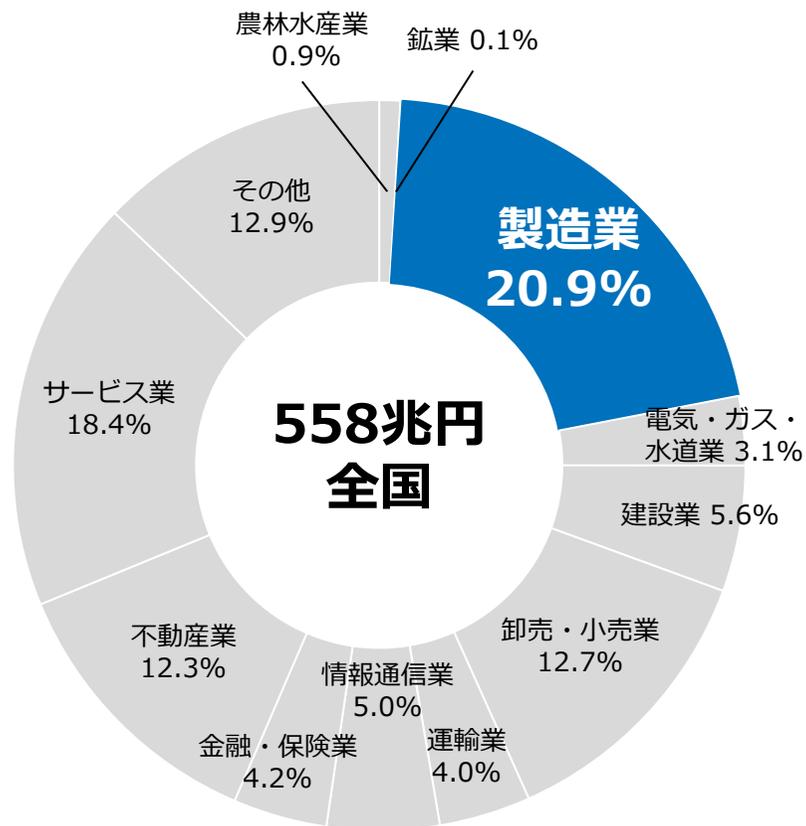
(7) 県内総生産の構成内訳

- 県内総生産に占める製造業の割合は2割を超え、製造業を中心とした産業構成となっています

福井県の構成内訳（令和2年度）



全国の構成内訳（令和2年度）



(8) 「実は福井の技！」

製造品出荷額（令和4年）

国内シェア1位

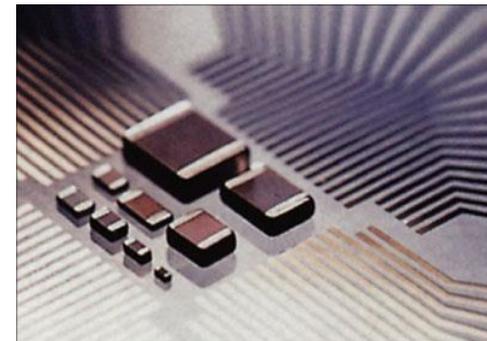
国内シェア
約94%



【眼鏡フレーム】

世界シェア1位

世界シェア
約40%



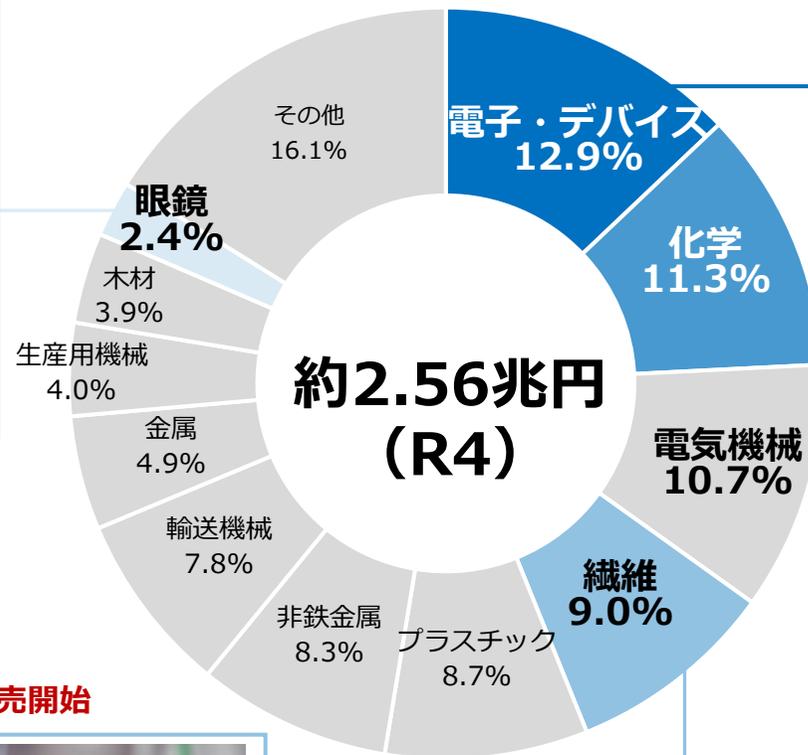
【積層セラミックコンデンサ】
(株)福井村田製作所

世界シェア1位

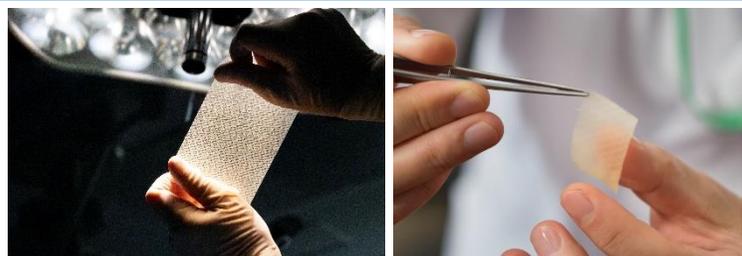
世界シェア
約65%



【複合電気絶縁材料】
(株)日東シンコー株式会社



令和6年6月12日 販売開始



【心・血管修復パッチ「シンフォリウム」】
大阪医科大学、福井経編興業(株)、帝人(株)が共同開発

2 福井県の重要課題

(1) 北陸新幹線敦賀以西の整備促進 ～全線開業の意義～

- 北陸新幹線が大阪まで開業した場合、全国の交流人口は約1,910万人の増加を見込んでいます
- 南海トラフ地震等大規模災害時には、東京・大阪間を結ぶ東海道新幹線の代替機能を果たします

全国の交流人口の増加

約 **1,910**万人/年

全国への経済波及効果

約 **2,700**億円/年

出典：関西経済連合会・北陸経済連合会・大阪商工会議所調査
(令和元年10月)

巨大地震発生時の
北陸新幹線の代替補完機能

鉄道移動への影響

約20万人/日

全線開業した場合の
回復量

約10万人/日
(約5割)

※「北陸新幹線による東海道新幹線の代替補完機能評価」
(平成23年8月 関西経済連合会・北陸経済連合会)における試算

未着工区間
敦賀・新大阪間
小浜京都ルート

令和6年3月
開業区間
(金沢・敦賀間)

北陸新幹線

沿線人口：約 **4,190**万人

リニア中央新幹線

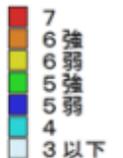
東京

大阪

東海道新幹線

沿線人口：約 **4,930**万人

震度階級



南海トラフ巨大地震の被害想定(平成25年3月 中央防災会議)
・東海道・山陽新幹線の震度6弱以上の区間(三島・徳山間)は、運転再開に1週間から1か月の期間が必要
(震度5強以下の区間は、当日のうちに運転再開)

(2) 高速道路の整備 ～中部縦貫自動車道の県内区間全線開通へ～

- 中部縦貫自動車道の県内区間全線開通に向けて、現在残り1区間の整備が進められている福井県の東の玄関口が拓かれ、トンネル区間が多く雪の影響を受けにくいことから、冬期間の安定した交通の確保に繋がるほか、災害時の緊急輸送道路としての役割も期待される



中部縦貫自動車道

- 福井→岐阜・高山→長野・松本に至る高速道路 (平成元年8月～)
- 名神高速や北陸自動車道において、大雨や大雪等による通行止めが発生した際に、代替路・迂回路としての機能発揮に期待
- 昨年、大野IC～九頭竜ICが順次開通
- 県内区間が全線開通に向けて現在整備中
- 大野油坂道路の事業費は約2,847億円
- 整備効果

	整備前	整備後
大野→名古屋	2:30	2:10 (20分短縮)

舞鶴若狭自動車道

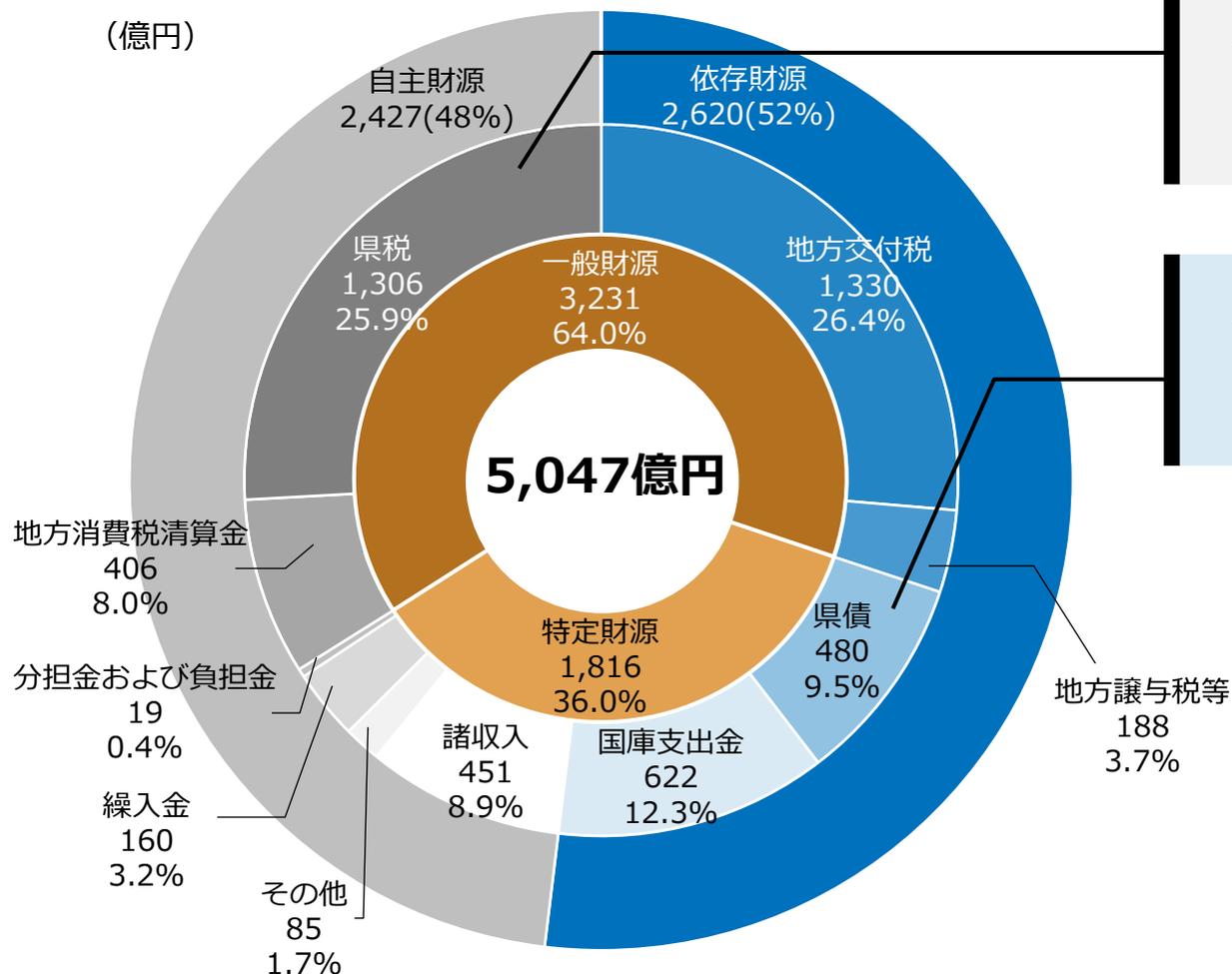
- 福井県の西の玄関口
- 平成26年7月に暫定2車線で全線開通
- 平成31年4月以降、優先整備区間の4車線化が順次事業化
- 昨年10月には、舞鶴東IC～大飯高浜ICの一部区間で県内初の4車線化工事に着手
- 整備効果

	一般道利用	舞若道利用
敦賀→舞鶴	1:50	1:10 (40分短縮)

3 福井県の財政運営

(1) 令和6年度福井県当初予算（一般会計）歳入

■ 一般会計予算総額は、5,047億円で対前年比3.6%減



県税の主なもの ()内は昨年度比

・法人二税	357億円 (△3億円)
・個人県民税	287億円 (△2億円)
・核燃料税	136億円 (△9億円)

県債の主なもの ()内は昨年度比

・公共	304億円 (△17億円)
・県立学校再編整備	31億円 (+28億円)
・県立大学恐竜学部整備	4億円 (+4億円)

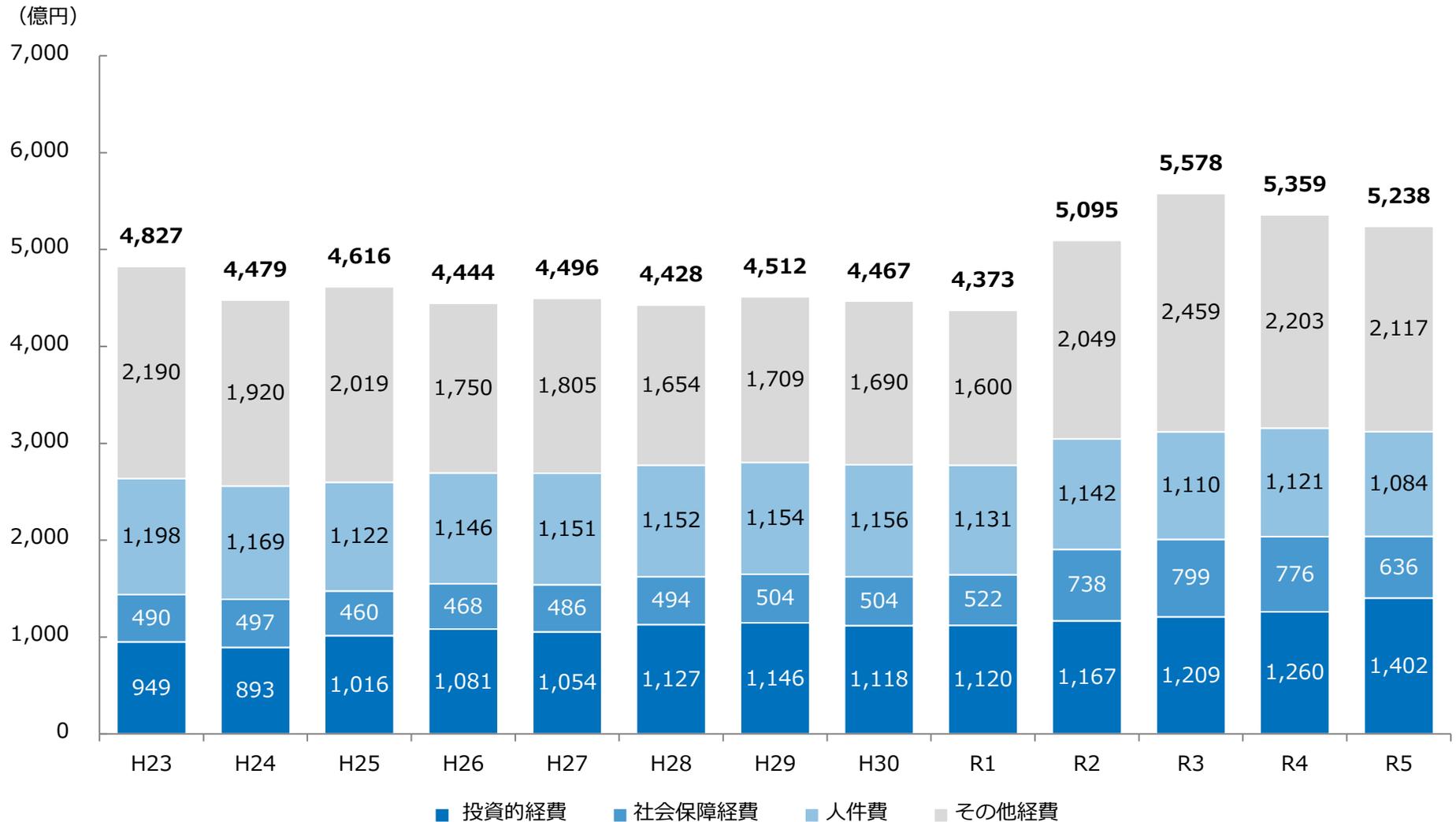
参考/原子力発電関係歳入

計358億円 (歳入の7.1%)

・法人二税等	111億円
・核燃料税	136億円
・電源三法交付金	111億円

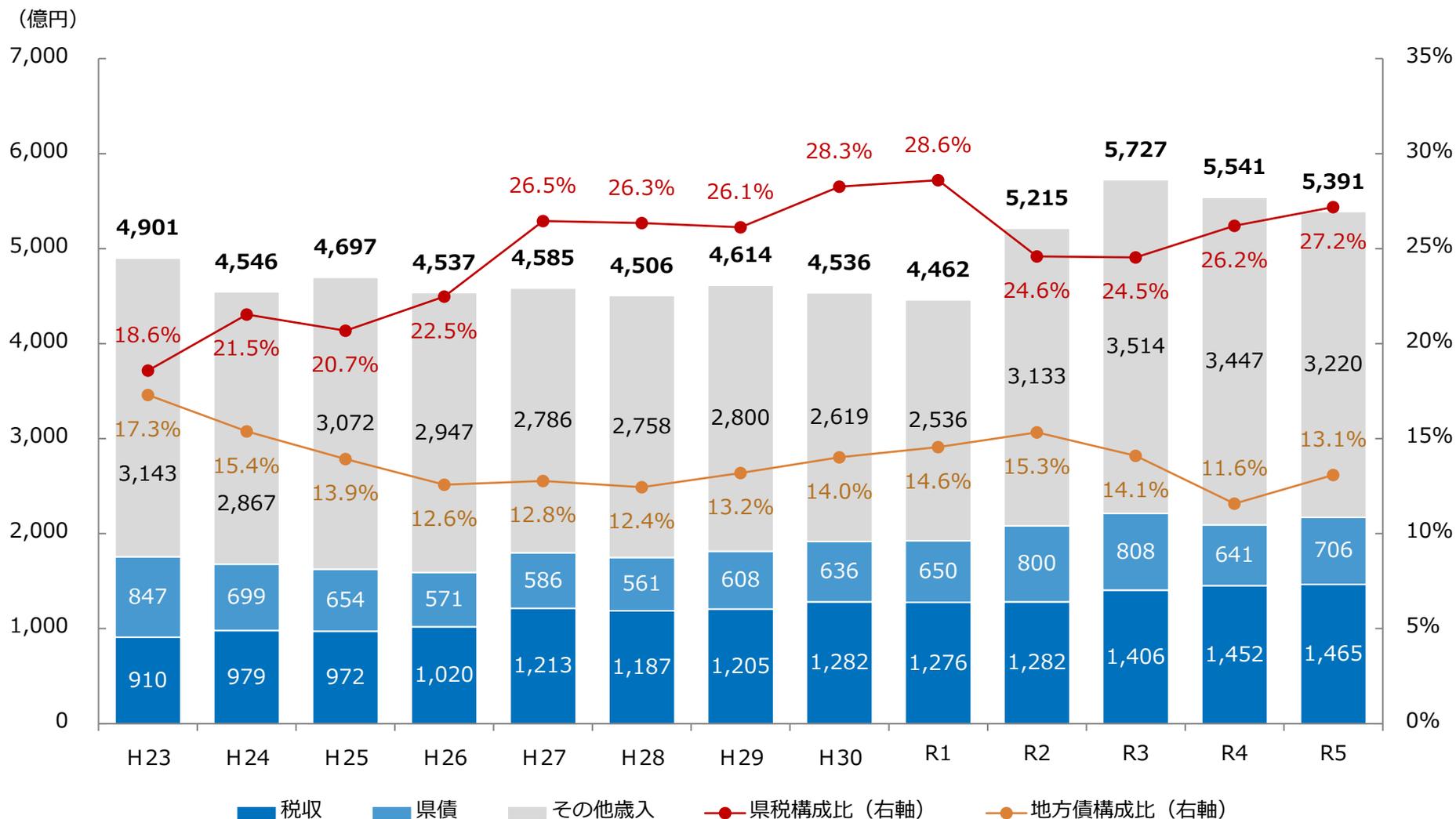
(2) 福井県普通会計歳出決算の推移

- 並行在来線区間のJRからの鉄道資産取得等により、「投資的経費」が増加
- 新型コロナウイルス感染症対策関連事業費の減少により、「その他経費」が減少



(3) 福井県普通会計歳入決算の推移

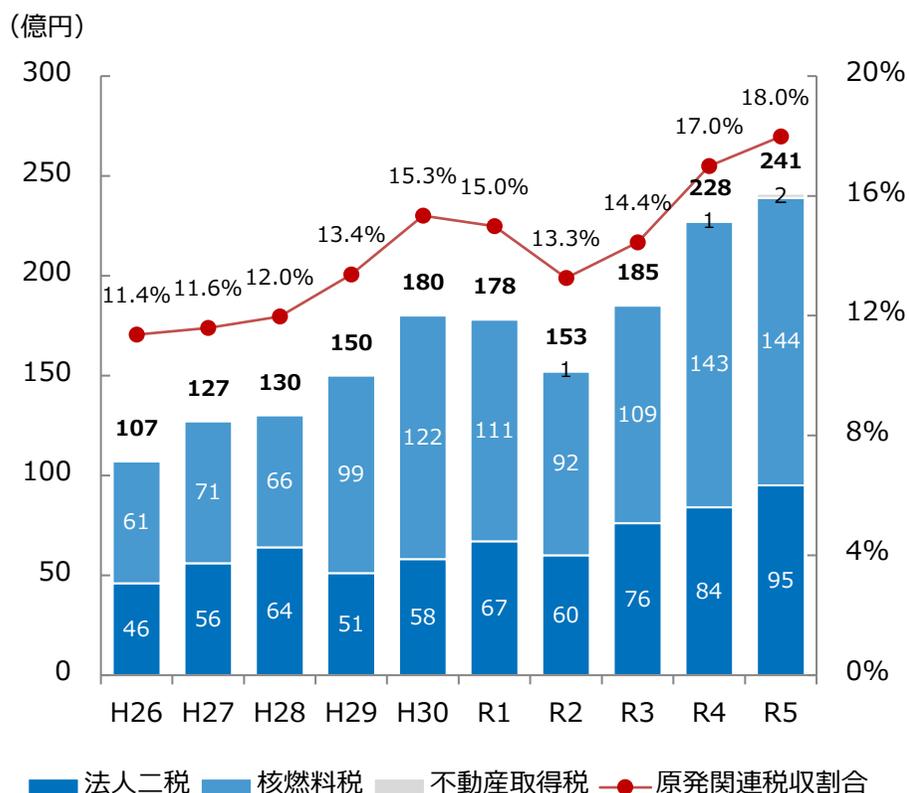
- 核燃料税の見直しや企業立地の促進を図り、県税等一般財源による安定的な歳入確保の努力を継続



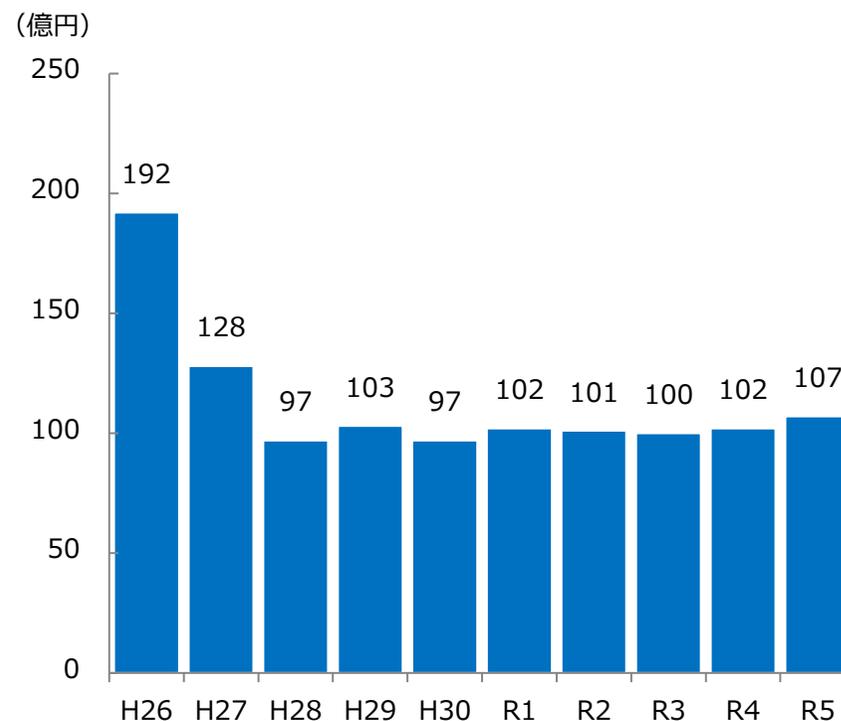
(4) 原子力発電関連税収等の推移

- 東日本大震災の影響に伴う原子力発電所停止以降も安定的に推移
- 県税のうち、原発関連税収が約2割弱を占める
- 令和3年11月に搬出促進割及び出力割の税率を見直した結果、計画額税収は増額

福井県の原発関連税収額



電源三法交付金の交付額



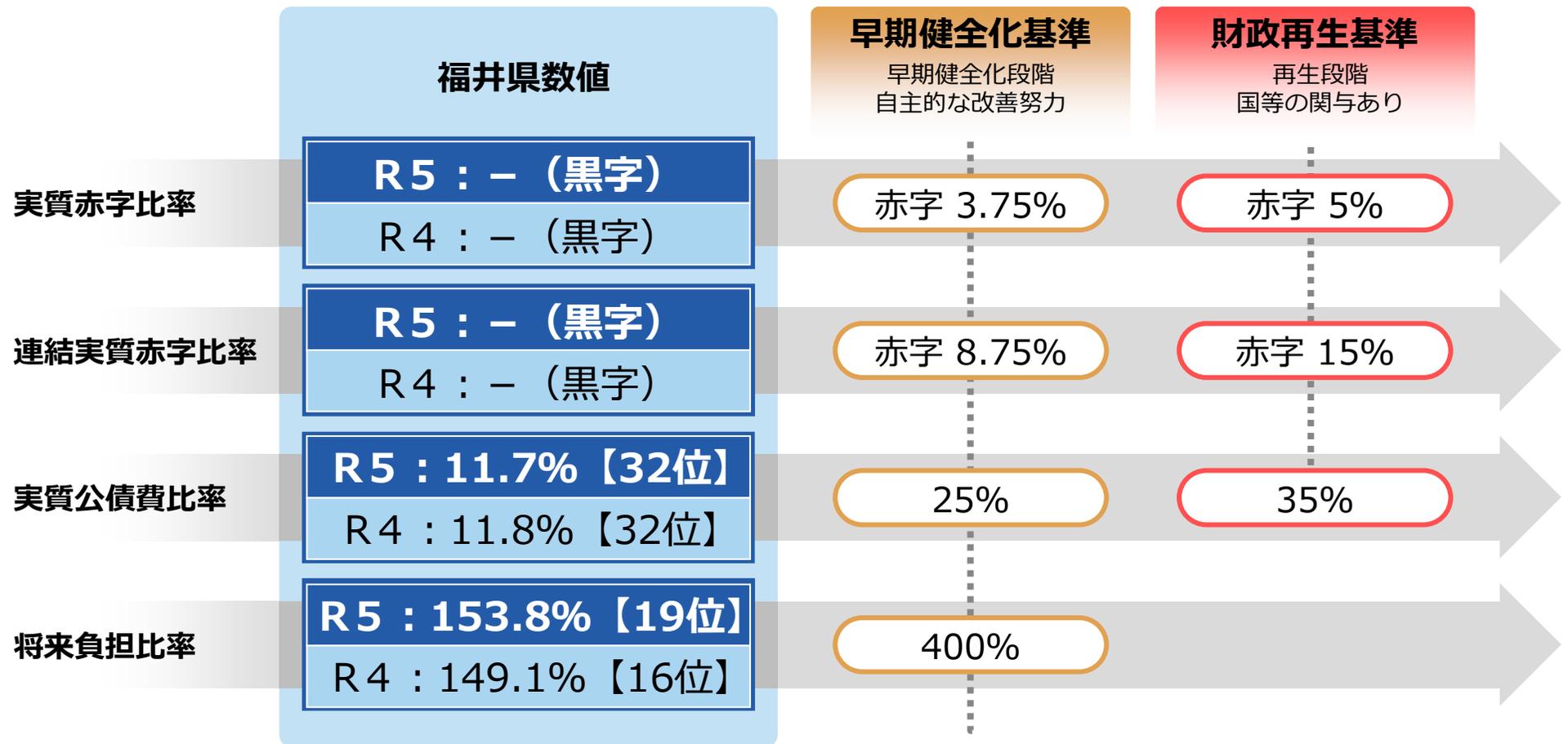
※ 原発関連税収割合とは、県税のうち原発関連税収の占める割合
 ※ 計画額税収とは、原子力発電所がすべて稼働し価額割が入る場合の税収

(5) 原子力発電に関する福井県の現状 (令和6年9月30日現在)

- 現在、美浜3号機、高浜1・2・3・4号機、大飯3・4号機が運転中
- 敦賀2号機については定期検査中



(6) 財政健全化法における財政指標

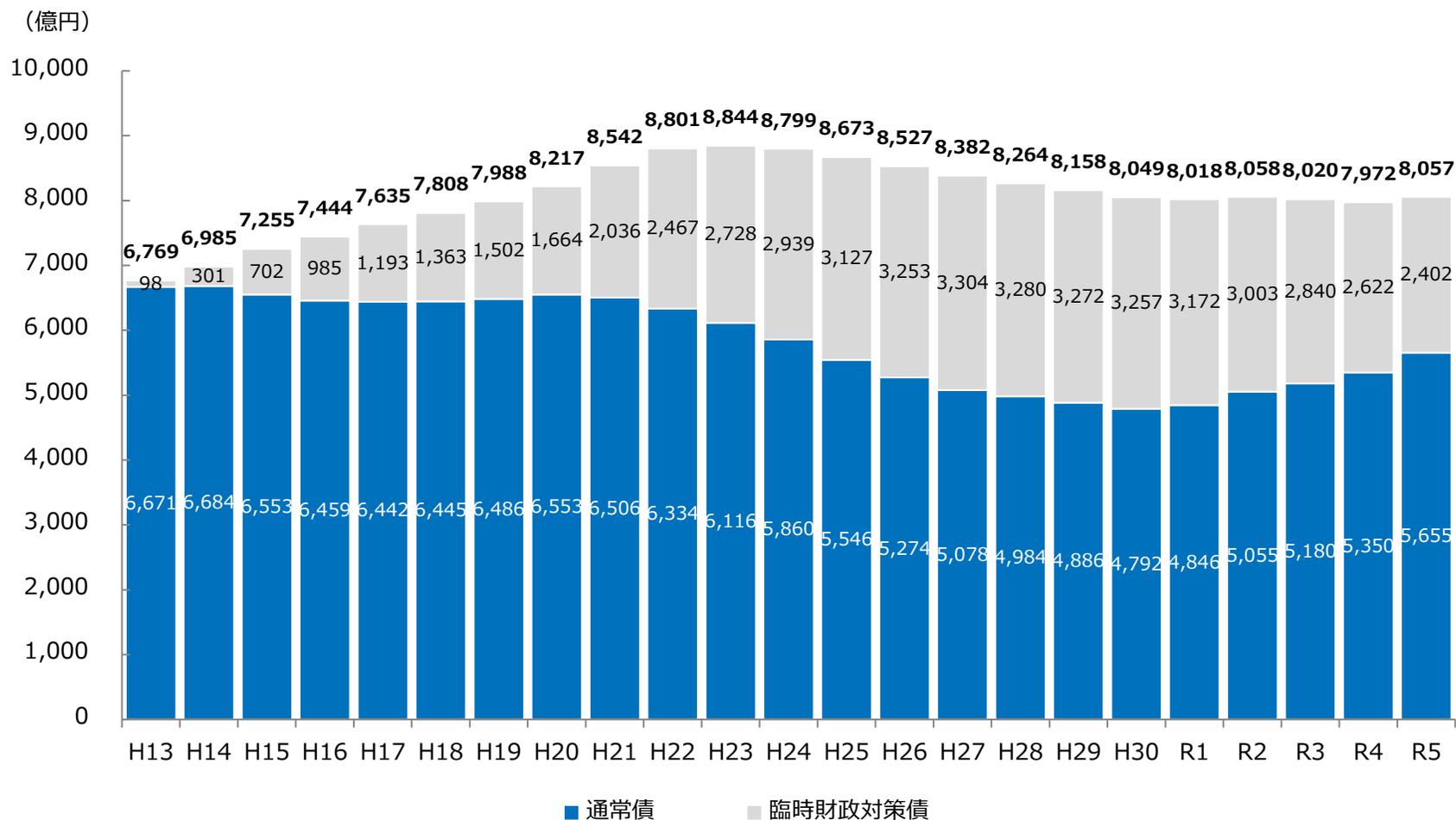


※ 【 】内は全国順位 (R5は速報値)

資金不足比率 資金不足なし (病院事業会計、臨海工業用地等造成事業会計、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、
臨海下水道事業会計、流域下水道事業会計、県営産業団地整備事業特別会計、港湾整備事業特別会計)

(7) 地方債残高の状況

- 令和5年度の県債残高は5,655億円、5年連続の増
- 中部縦貫自動車道の整備など、県債発行の大幅な増加が見込まれるため、これまで減らしてきた県債残高が増加することは避けられないが、引き続き全国中位程度を目途に健全財政を堅持していく



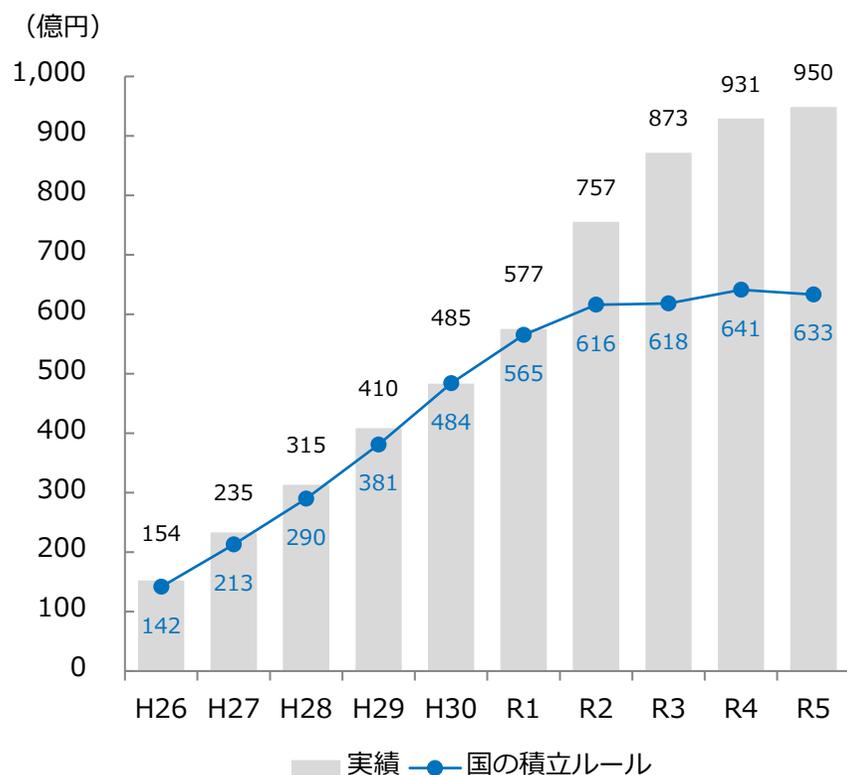
※ 臨時財政対策債：地方全体の財源不足を補うために発行される起債。後年度、償還金相当額の全額について交付税措置

※ 満期一括償還地方債の減債基金積立額は地方債残高より控除

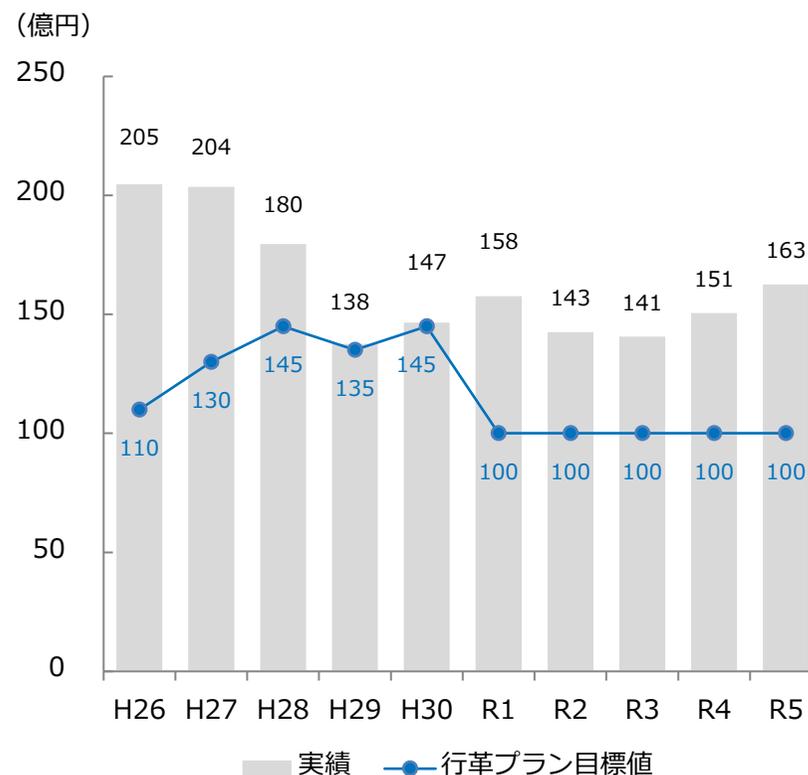
(8) 減債基金・財政調整基金等の状況

- 地方債の満期一括償還に備え、計画的に減債基金を積み立てており、積立不足は生じていない
- 財政調整3基金は行革プラン目標を上回って積み立てており、引き続き基金残高の確保に努める

減債基金への積立状況



財政調整基金等の残高



※ 国の積立ルールに基づき、発行額の1/30ずつを発行の翌年度から積み立てるものとして計算したもの

※ 財政調整3基金とは、財政調整基金、県債管理基金(満期一括償還債の積立額は除く)、地域振興基金をいい、いずれも年度間の財源調整が可能な基金

※ 行革プランとは、H27までは第3次行財政改革実行プラン、H28～H30は第4次行財政改革実行プラン、R1～R5は行財政改革アクションプランを指す 23

(9) 企業会計の状況

■ 企業会計等において資金不足は生じていない

(百万円)

収益的収支	令和4年度				令和5年度				増減			
	収入	支出	差引	資金 剰余額	収入	支出	差引	資金 剰余額	収入	支出	差引	資金 剰余額
病院	27,271	25,798	1,473	12,928	26,412	26,018	394	11,743	△3.1%	+0.9%	△73.3%	△9.2%
工業用地等造成	696	566	130	8,456	106	87	19	8,617	△84.8%	△84.6%	△85.4%	+1.9%
工業用水道	760	625	135	2,798	752	607	145	3,173	△1.1%	△2.9%	+7.4%	+13.4%
水道用水供給	3,178	2,884	294	11,925	3,138	2,752	386	11,865	△1.3%	△4.6%	+31.3%	△0.5%
臨海下水道	1,157	1,058	99	1,405	1,170	1,059	111	1,754	+1.1%	+0.1%	+12.1%	+24.8%
流域下水道	2,451	2,539	△88	909	2,493	2,593	△100	874	+1.7%	+2.1%	△12.0%	△3.9%
産業団地整備	-	-	-	-	66	66	0	-	皆増	皆増	-	-
港湾整備	3,532	3,532	0	-	3,427	3,427	0	-	△3.0%	△3.0%	±0.0%	-

4 地方公会計に基づく財務諸表の状況

(1) 統一的な基準による地方公会計（一般会計等決算）

- 総務省が示した統一的な基準による公会計を平成28年度より作成・公表

貸借対照表

	(百万円)		
	令和3年度	令和4年度	増減
流動資産	42,885	47,959	+11.8%
現金預金	17,790	22,358	+25.7%
基金	22,161	22,761	+2.7%
固定資産	1,669,804	1,671,497	+0.1%
事業用資産	218,047	222,894	+2.2%
インフラ資産	1,211,658	1,198,347	△1.1%
資産合計	1,712,689	1,719,455	+0.4%
流動負債	74,899	71,837	△4.1%
地方債	64,179	59,763	△6.9%
その他	10,720	12,074	+12.6%
固定負債	941,012	943,662	+0.3%
地方債	835,251	839,653	+0.5%
その他	105,761	104,009	△1.7%
負債合計	1,015,911	1,015,499	△0.0%
純資産合計	696,777	703,956	+1.0%

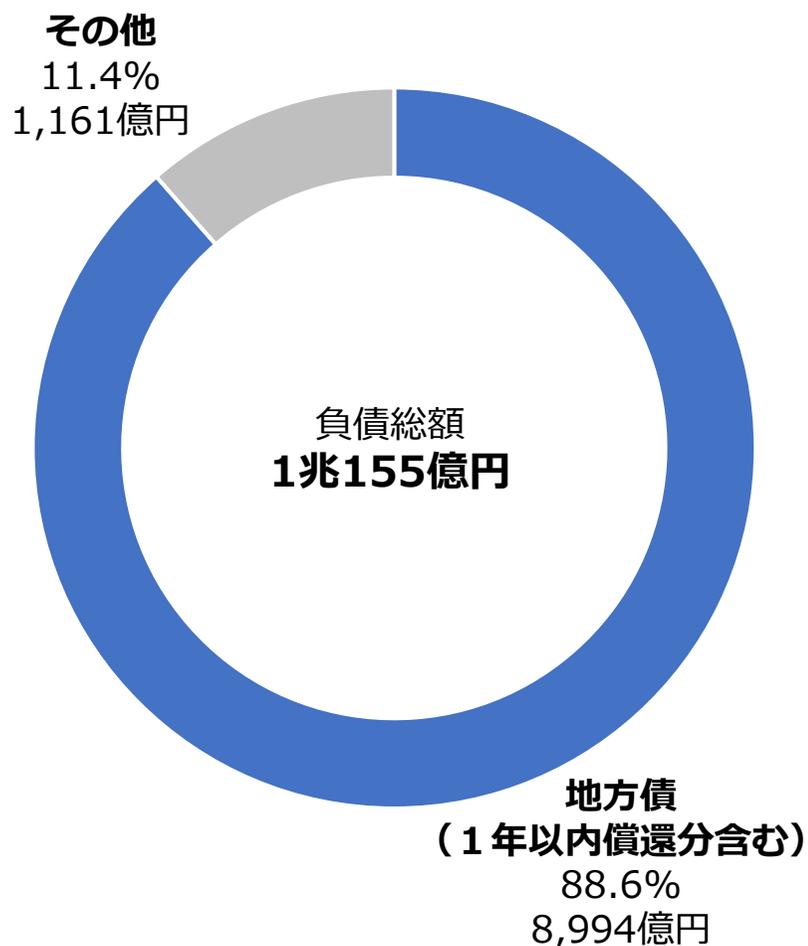
行政コスト計算書

	(百万円)		
	令和3年度	令和4年度	増減
経常費用	430,175	432,029	+0.4%
人件費	107,199	113,318	+5.7%
物件費等	132,254	134,134	+1.4%
移転費用	182,499	178,615	△2.1%
その他	8,223	5,962	△27.5%
経常収益	12,701	12,444	△2.0%
使用料及び手数料	5,008	5,062	+1.1%
その他	7,693	7,382	△4.0%
純経常行政コスト (経常収支)	417,473	419,585	+0.5%
臨時損失	3,472	5,763	+66.0%
災害復旧費	1,121	4,982	+344.4%
その他	2,351	781	△66.8%
臨時利益	3,208	328	△89.8%
資産売却益	0	87	皆増
その他	3,208	241	△92.5%
純行政コスト	417,738	425,020	+1.7%

(2) 貸借対照表（一般会計等）

- 負債の約9割は、道路や学校などの公共施設等を整備するための借入である地方債が占めます
- 県民1人あたり、2,276千円の資産がある一方で、1,344千円の負債があります

貸借対照表（一般会計等）負債の構成



資産老朽化比率

(単位：百万円)

	取得価格	減価償却累計額	資産老朽化比率
建物	332,014	217,071	65.4%
事業用	269,795	171,410	63.5%
インフラ	62,219	45,661	73.4%
工作物	2,817,794	1,842,238	65.4%
事業用	18,471	12,916	69.9%
インフラ	2,799,323	1,829,322	65.3%
合計	3,149,808	2,059,309	65.4%

県民1人あたり資産・負債等

資産 2,276千円 (昨年度比+33千円)	負債 1,344千円 (昨年度比+13千円)
	純資産 932千円 (昨年度比+20千円)

※ () 内は昨年度数値、R3・R4年度末住民基本台帳人口により算出

5 行財政改革の実施

(1) 行財政改革アクションプラン2024

■ 推進期間

- 令和6年度～令和10年度（5年間）

■ アクションプランのポイント

<p>施策方針(1) 官民がつながり、 チームふくいを実現する県庁</p>	<p>方針1 クレドを推進し、官民共創で地域課題を解決 方針2 市町協働を深化し、地域の未来づくりをバックアップ 方針3 便利でやさしいDXを推進し、県民とのつながりを創出</p>
<p>施策方針(2) 多様な人材が集まり、育ち、 躍動する県庁</p>	<p>方針4 多様な人材が最大限の力を発揮し、誇りとやりがいを持って働く職場づくり 方針5 主体的に成長し、自らキャリアを創造できる人材を育成 方針6 場所や時間、既成概念にとらわれない次世代の働き方改革を徹底実行</p>
<p>施策方針(3) 連帯感、効率性、生産性を高め、 チャレンジが生まれる県庁</p>	<p>方針7 事務事業の見直しと、デジタル前提の業務改善を徹底 方針8 連帯感を生みだし、効率性と生産性を高める組織運営 方針9 健全財政の堅持</p>

(2) 行財政改革アクションプラン2024における健全財政の堅持

歳入の確保

- 財政負担の平準化と安定確保（グリーンボンド発行拡大等）
- 県税・税外収入金の確保、ふるさと納税拡大、宝くじの販売促進

歳出の合理化

- 重要プロジェクト対応、ふるさと融資や収益納付型補助による民間応援
- 政策トライアル枠予算による迅速な課題解決、地域の景観対応枠の創設

県有施設マネジメントの推進

- 計画的な施設の修繕、保有量適正化の検討、未利用資産の貸付・売却
- 県有施設を活用した広告掲出、ネーミングライツ、公共施設の脱炭素化

中期的な見通しに基づく財政運営

- 今後10年の財政収支見通しを毎年策定、わかりやすい財政状況の公表
- 財政指標の目標設定（財政調整のための3基金残高、臨時財政対策債を除く県債残高、財政健全化指標）

6 福井県の目指す姿

(1) 福井県長期ビジョンの概要

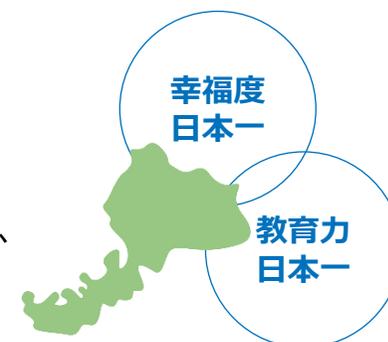
■ 福井県長期ビジョン

■ 基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！

▶ 安心と信頼のふくい

先人たちが守り伝えてきた歴史・文化、豊かな自然や食、家族や地域のつながり、充実した子育て・教育環境、安定した産業・雇用など



■ 2040年に福井県が目指す姿

SDGs（誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会）の理念に沿いながら、3つの姿を目指します

日本一幸福な子育て県「ふく育県」のさらなる拡大

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

変化をチャンスに、しごととくらしを創造。

基本
目標

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

「幸福度日本一」の質の高いくらしを実現する、新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築きます

(2) 令和6年度 重点施策

新幹線効果の最大化・持続化

観光地の磨き上げ

- 東尋坊の魅力向上や、アウトドアを軸とした六呂師高原の再開発など、民間企業や市町と連携した観光地の磨き上げ



東尋坊ビジターセンター
(イメージ)

誘客プロモーション強化

- 「北陸デスティネーションキャンペーン」を実施(10月~12月)
- 全国のお城ファンの誘客を進める「お城イベント」の開催や、全国的に話題性の高い将棋タイトル戦の誘致



北陸デスティネーション
キャンペーンの実施

インバウンド拡大

- 免税店登録やキャッシュレス決済対応機器を導入する事業者に対し経費の全額を支援
- 予約手配の専門家が、海外旅行会社等からの問い合わせと県内の観光事業者をマッチング



外国人観光客による伝統工芸体験

二次交通の充実

- 新たに交通系ICカードを導入した路線バスの利用促進のため、秋に無料乗車デーおよびモバイルスタンプラリーを開催
- 新幹線駅等の駅待ちタクシーを確保し、運転手確保に向けて企業退職予定者の二種免許取得を支援



バスの交通系ICカード

日本一幸福な子育て県「ふく育県」のさらなる拡大

日本一の「複育応援」

- 第2子保育料無償化や第2子以降の在宅育児応援手当にかかる所得制限を撤廃
- 子どもを2人以上扶養する世帯に対し、県立・私立高校の授業料無償化、県内大学等進学者等の授業料の一部を県独自に減免



ふく育県イメージ

地域全体での子育てサポートを強化

- モニタリング事業等を通じ改善点の把握に努めながら「ふく育さん」や「ふく育タクシー」の利用促進
- ヤングケアラー当事者が悩み等を共有できる機会の拡充や保育人材の確保など、子どもも親も安心な子育て環境づくり



安心な子育て環境イメージ

(2) 令和6年度重点施策

暮らしの質の向上

防災・減災対策の強化

- 能登半島地震を踏まえ、木造住宅の耐震診断や耐震改修工事等に対する補助制度を大幅に拡充、低コスト工法による耐震改修などの普及啓発を強化
- 避難所の環境づくりに向けて施設の改修や防災資機材の整備等を行う市町を支援



低コスト工法講習会

社会生活基盤の整備

- 中部縦貫自動車道県内区間全線開通の一日も早い実現に向けた取り組みや、福井港丸岡インター連絡道路の早期完成に向けた整備
- 地域の声に対して迅速に対応できるよう、道路や河川などの小規模な緊急修繕等について、新たに枠予算を創設



福井港丸岡インター連絡道路

長期ビジョンの着実な推進

魅力的な教育環境づくり

- 福井県立大学において、令和7年度の恐竜学部（仮称）の開設に伴い、新学部棟の本体工事に着手
- 高校生の探究的な学びを推進するため、探究成果合同発表会等の開催や、探究活動資金確保に向けたクラウドファンディング活用等を支援



新学部棟イメージ

地域経済のイノベーション

- 新幹線駅周辺において県内企業や都市圏企業の活動拠点となるインキュベーション施設の整備を支援するとともに、県の企業支援チームやクリエイター等が協働し、成長や新しい価値づくりに取り組む企業を応援



ワークスペースイメージ

林業の活性化

- 継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次世代につなげていくため、「全国育樹祭」を開催（10月）
- 「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマとして、各種行事を開催



脱炭素社会の推進

- 二酸化炭素の排出抑制と再生可能エネルギーの地産地消・普及拡大に向けて、太陽光発電および蓄電池設備の導入を新たに支援
- 若年層の次世代自動車購入の支援や、自動車学校における次世代自動車への転換促進により、運輸部門の「ゼロカーボン化」を推進



太陽光発電イメージ

7 福井県とSDGsの関わり

(1) 福井県のSDGsの取組み

■ 福井県SDGsパートナーシップ会議を令和2年8月に創設

長期ビジョンに掲げたSDGsの理念に沿って持続可能な地域づくりを推進する官民連携プラットフォーム

【活動コンセプト】 **未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～**

- ・ 1,181の機関（企業、団体、教育機関、自治体など）が参画
- ・ フォーラムを開催（年1回）、SNSを活用した情報交換

■ 県民からの公募によりオリジナルロゴマークを作成

- ・ 令和2年度 デザイン公募（応募総数 467件）
- ・ 令和3年度 愛称公募（応募総数 1,152件）
- ・ パートナーが名刺やHPに掲載、ロゴマークを活用した商品を開発・販売



■ SDGs未来都市への選定（令和3年5月）

【テーマ】 **「次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現」**

「福井の未来を担う次世代の育成」を取り組みの中心に位置づけ、官民一体となって人材育成

■ 県民×企業×行政の協働推進体制を強化

- ・ 令和5年度 SDGsディレクターとSDGsコーディネーター（3名）を配置
- ・ 企業や団体を訪問し、課題発掘や解決に向けた具体的な連携の提案・サポート等を実施



紅ズワイガニの殻を活用した調味料オイルの開発

(2) 次世代育成に向けた取組み

■ 教育機関とSDGsパートナーの連携を促進

- ・ 令和3年度 学校との連携に積極的なパートナーのリストを作成し、HPで公開
- ・ パートナー登録企業等が持つ技術やノウハウ、ネットワークを活かして、**新しい学習・体験プログラムを作成、出前授業を実施**
 - ▶ 令和5年度は、環境面の課題である「地球温暖化対策」をテーマに子どもたちが楽しみながら学ぶことができるボードゲームを作成・販売



■ SDGs講演会の開催（令和5年度）

- 1部：講演会
- 2部：SDGsパートナー企業・団体の取組紹介・交流会
 - ▶ 生徒・教員×企業や企業×こども食堂等、様々なつながりを創出



■ ふくいSDGsリーフレットを作成・学校に配布（令和5年度～）

- ・ 福井県出身美術家 長坂真護さんの取組紹介
 - ▶ 校外学習や探究の授業等で活用
 - 図書館や県庁ホール等にて展示

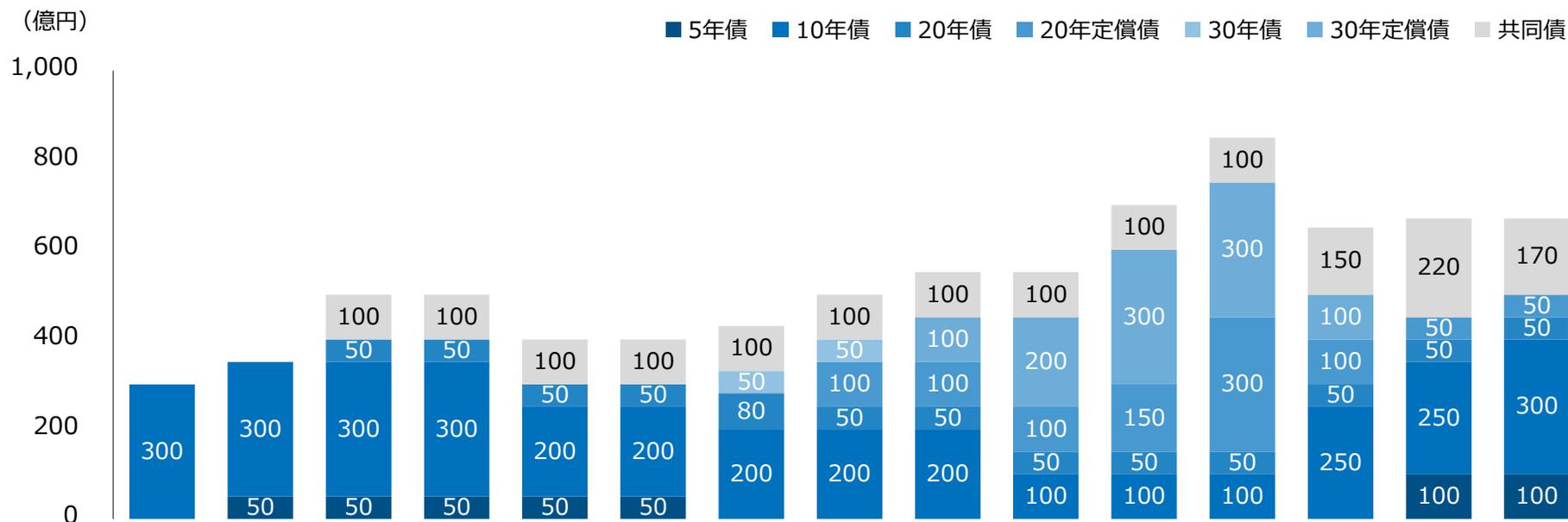


8 福井県債のご紹介

(1) 市場公募債の発行状況

- 令和6年度は個別債と共同債を合わせて670億円の発行を予定

市場公募債年限別発行額の推移



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
5年債		50	50	50	50	50								100	100
10年債	300	300	300	300	200	200	200	200	200	100	100	100	250	250	300
20年債			50	50	50	50	80	50	50	50	50	50	50	50	50
20年定償債								100	100	100	150	300	100	50	50
30年債							50	50							
30年定償債									100	200	300	300	100		
共同債			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	150	220	170
合計	300	350	500	500	400	400	430	500	550	550	700	850	650	670	670

※ 平成21年度から市場公募債を発行

※ 発行額は借換債含みの額

(2) 令和6年度の市場公募債発行予定

- フレックス枠を活用して複数年限の発行を検討（主幹事方式）
令和6年度は、7月に5年・10年・20年満期一括債および20年定時償還債を発行
- 9月に10年満期一括債を発行（シ団プレマ方式）
- 福井県として2回目のグリーンボンドを発行（R5：50億円 → R6：76億円に増額）
- 本年度2年目を迎えるグリーン共同債にも引き続き参加

(億円)

		令和6年										令和7年					合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
個別債	10年債						100									100	
	フレックス				300 (※)			76 【グリーンボンド】								376	
共同債		70					30	30 【グリーン共同】				40 【グリーン共同】			170		

※ 7月に「5年満期一括債：100億円、10年満期一括債：100億円、20年満期一括債：50億円、20年定時償還債：50億円」を発行

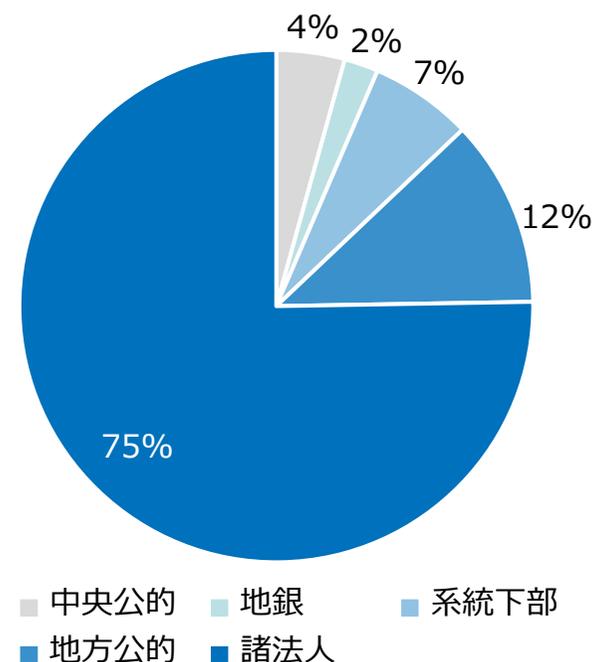
(3) 福井県グリーンボンド発行概要

北陸の自治体で初となるグリーンボンドを発行

- 本県では、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、気候変動への適応策を推進。これらの施策を推進するための資金調達として、グリーンボンドを発行

発行概要		
	令和5年度	令和6年度
名称	福井県令和5年度第6回公募公債 (グリーンボンド)	福井県令和6年度第6回公募公債 (グリーンボンド)
発行額	50億円	76億円
発行日	令和5年10月26日	令和6年10月25日
償還日	令和15年10月26日	令和16年10月25日
利率	0.850%	1.038%
発行価格	額面100円につき100円	額面100円につき100円
期間	10年(満期一括償還)	10年(満期一括償還)
主幹事	みずほ証券(事務) SMBC日興証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	SMBC日興証券(事務) 大和証券 野村證券 みずほ証券
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)から、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得	

投資表明投資家の内訳(令和6年度)



(3) 福井県グリーンボンド発行概要

- 令和6年度グリーンボンドでは投資表明件数93件と、令和5年度の80件を上回る多くの投資家から福井県の取り組みに賛同・共感をいただきました

令和6年度 グリーンボンド投資表明投資家 93件（内、県内投資家72件）

県内投資家				県外投資家	
No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名
1	株式会社秋吉グループ本部	26	社会福祉法人慈光保育園	51	福井コンピュータホールディングス株式会社
2	あわら市	27	清水工業株式会社	52	一般社団法人福井人絹倶楽部
3	あわら市土木部上下水道課	28	社会福祉法人千寿会	53	株式会社福井新聞社
4	池田町	29	第一テック商事株式会社	54	福井信用金庫
5	社会福祉法人一乗谷友愛会	30	大栄株式会社	55	福井テレビジョン放送株式会社
6	井上商事株式会社	31	株式会社ダイエイ	56	福井鋸螺株式会社
7	株式会社岩佐土建	32	株式会社高野組	57	福井ボイラー工業株式会社
8	永平寺町	33	社会福祉法人長寿幸元会	58	フクビ化学工業株式会社
9	越前たけふ農業協同組合	34	株式会社土田鶏卵	59	富士経編株式会社
10	越前町	35	株式会社デイリーエッグツチダ	60	株式会社北陸環境科学研究所
11	越前三国競艇企業団	36	株式会社TOP	61	株式会社ホテルまつや
12	株式会社FBCアドサービス	37	富田商事株式会社	62	松文産業株式会社
13	おい町	38	株式会社ニシデ・コンストラクション	63	株式会社マルツ電波
14	社会福祉法人大野和光園	39	株式会社西村組	64	三崎屋電工株式会社
15	オカモト鐵工株式会社	40	日光産業株式会社	65	南越前町
16	社会福祉法人かすみが丘学園	41	日本エフ・アール・ピー株式会社	66	森口建設株式会社
17	社会福祉法人勝山市社会福祉協議会	42	株式会社半澤組	67	株式会社文珠四郎管工商会
18	北山設備株式会社	43	東角建設株式会社	68	株式会社山内スプリング製作所
19	共同コンピュータ株式会社	44	株式会社福井銀行	69	吉岡幸株式会社
20	株式会社クオードコーポレーション	45	福井県医師信用組合	70	ヨシダ工業株式会社
21	株式会社グランディア芳泉	46	公益社団法人福井県看護協会	71	医療法人嶺南こころの病院
22	税理士法人合同経営会計事務所	47	福井県勤労者互助会	72	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会
23	合同設備工業株式会社	48	福井県市町総合事務所		
24	株式会社コープサービス福井	49	学校法人福井県自動車学園		
25	酒伊編織株式会社	50	公益財団法人福井県グローバル人材基金		
				1	あぶくま信用金庫
				2	いちい信用金庫
				3	一般社団法人川口薬剤師会
				4	一般財団法人簡易保険加入者協会
				5	教職員共済生活協同組合
				6	株式会社ジェスクホリウチ
				7	公益財団法人自動車リサイクル促進センター
				8	独立行政法人住宅金融支援機構
				9	水郷つくば農業協同組合
				10	地方職員共済組合
				11	東濃西部広域行政事務組合
				12	一般社団法人東邦大学薬学部鶴風会
				13	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
				14	日本コープ共済生活協同組合連合会
				15	日本再共済生活協同組合連合会
				16	株式会社日本貿易保険
				17	根上工業株式会社
				18	兵庫県
				19	一般財団法人藤沢市開発経営公社
				20	北菱電興株式会社
				21	株式会社みなと銀行

(五十音順)

(4) 福井県グリーンボンド充当予定事業

北陸新幹線の整備



事業区分	クリーン輸送
想定される環境改善効果	温室効果ガスの排出量 削減

林道の整備



事業区分	生物自然資源及び 土地利用に係る環境持続型管理
想定される環境改善効果	森林の多面的な機能の維持・増進

公共施設等の省エネ化



事業区分	エネルギー効率
想定される環境改善効果	温室効果ガスの排出量削減

河川の整備



事業区分	気候変動への適応
想定される環境改善効果	自然災害リスクに対する防災機能の強化

(5) 資金充当状況・環境改善効果

- 北陸新幹線の整備、災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備を中心に資金を充当

ICMA原則上の事業区分	充当事業	充当額（百万円） （充当割合）	想定される環境改善効果
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 （北陸新幹線負担金）	3,500（70.0%）	■ 59,000t-CO2/年*
エネルギー効率	■ 照明のLED化 （長寿命化対策事業（県立高校））	22（0.4%）	■ 整備箇所：3箇所 ■ 導入台数：603台 ■ 電力削減量：32,665.4（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：15.9（t-CO2/年）
	■ 照明のLED化 （LED式交通信号灯器移行事業）	123（2.5%）	■ 導入台数：車両灯器 394台 歩行者用灯器 398台 ■ 電力削減量：434,077.2（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：211.4（t-CO2/年）
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 県立大学先端増養殖学科 開設事業	601（12.0%）	■ 先端増養殖学科学生数：120名（4学年定員） ■ 想定就職先：漁業協同組合、食品会社、水産加工会社、環境調査会社、公設試験研究機関、官公庁
	■ 林道整備	43（0.9%）	■ 整備実績：林道開設1路線 ■ 整備距離（令和5年度）：594m
気候変動への適応	■ 災害時の緊急輸送道路となる 中部縦貫自動車道の整備	55（1.1%）	■ 整備箇所：61箇所
		656（13.1%）	■ 整備距離：大野～油坂間35km
合計		5,000（100%）	

福井県債に関するお問い合わせ先

- 福井県 総務部 財政課
- 住所 〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号
- TEL 0776-20-0234
- FAX 0776-20-0629
- Email : zaisei@pref.fukui.lg.jp
- HP : <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/zaisei09.html>

